



## S N S 利用に留意を！

先日、携帯電話の利用状況等について生徒にアンケートを実施しました。結果の一部を下にまとめていますが、本校生徒の半数以上が自分専用の携帯電話（スマートフォン等）を持っていることが分かりました。携帯電話の学校への持込みについては原則禁止としていますが、家庭での利用については保護者の管理の下、節度ある利用を心がけてください。

調査の中でフィルタリング（特定のサイトへのアクセスを制限するサービス）の利用について質問したところ、半数以上の生徒が「分からない」と回答しました。フィルタリングサービスについては、有害サイトへの誘導等を遮断しますので、設定をお勧めします。

また、携帯電話の利用時間が、家庭学習の時間を上回る生徒が多数いることも分かりました。9月に文書でお願いしましたが、メディアの使用は午後9時までとし、家庭学習を習慣化するなど「我が家のルール作り」についても確認をお願いします。

「携帯電話を利用して嫌なことや危ないことを経験したことがありますか？」という質問に対しては、「チェーンメールを送られた」、「悪口を書かれた」、「自分の個人情報や写真などを無断で流された」などの回答もありました。SNSを利用して言葉巧みに呼び出され、誘拐や性犯罪等の被害に遭った事案も報道されています。

SNSの好ましい利用方法等については、学校でも指導しているところですが、各家庭におかれても利用状況等の実態把握とともに指導をお願いします。

### ○ 自分用の携帯電話を持っていますか？

	1年	2年	3年	全体
持っている	52%	55%	49%	52%
持っていない	48%	45%	51%	48%

### ○ 「フィルタリング」を利用していますか？

	1年	2年	3年	全体
利用している	30%	31%	23%	28%
利用していない	0%	29%	26%	19%
分からない	70%	40%	52%	53%

### ○ 携帯電話を利用している時間は1日どれくらいですか？

	1年	2年	3年	全体
30分未満	27%	11%	3%	13%
30分～1時間	22%	6%	23%	16%
1時間～2時間	22%	43%	55%	41%
2時間～3時間	15%	23%	16%	18%
3時間以上	15%	17%	3%	12%

## ～各種大会・展覧会等で大活躍～

<県中総体駅伝大会>

○14位 女子駅伝チーム

<南島原市新人大会(剣道)>

○男子個人:3位 高田 嘉人(2年) 4位 宮崎 奨(2年)

○女子団体:準優勝 女子個人:3位 草野 文嘉(2年)

<九十九島杯西九州中学生男子バレー選手権>

○優勝(1・2位パート) 男子バレーボール部

<南島原市プレ新人バレーボール大会>

○優勝(Bパート) 女子バレーボール部

<南島原市民スポーツ大会(卓球)>

○優勝 酒井 里空(2年) 3位 江越 壮吾(2年)

<人権作文コンテスト長崎県大会>

○優秀賞 末吉 由奈(3年)

<「社会を明るくする運動」作文コンテスト>

○優秀賞 野原 大愛(2年)

<北村西望賞教育美術展>

○入選 伊藤 鮎美・伊藤 瀬那・内田 雅貴(3年)

江越 壮吾・田中 友梨・本村 咲希(2年)

白石 鉄馬・船戸 蘭心・松藤 悠悟(1年)

<古野賞科学技術展>

○奨励賞 林田 十和子(1年)

○入選 梶原 宗徳・古川 花織・吉武 心優(3年)

田中 友梨(2年)

<南島原市読書感想文コンクール>

○入選 安達 珠来(3年)

○佳作 古川 花織(3年) 林田 明希子・江川 和奏(2年)

<南島原市読書感想画コンクール>

○入選 末吉 由奈(3年)

## 12月の行事予定

1	水	ノ一部活動
2	木	生徒会役員選挙
3	金	人権講演会 人権集会
4	土	
5	日	
6	月	修学旅行(2年)
7	火	修学旅行(2年)
8	水	修学旅行(2年) ノ一部活動
9	木	学級専門委員会 避難訓練
10	金	全校専門委員会
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	ノ一部活動
16	木	生徒集会
17	金	
18	土	
19	日	家庭の日(ノ一部活動)
20	月	
21	火	
22	水	ノ一部活動
23	木	
24	金	終業式 *給食なし
25	土	冬季休業
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	休日(学校閉庁)
30	木	
31	金	

## <校長室の窓から>

11月24日、愛知県内の中学校で、中学校3年生の生徒が同級生に包丁で刺され死亡するという痛ましい事件が起きました。本県においても、平成15年長崎市で中学1年生の男子生徒が幼児を連れ去り殺害する事件が発生し、翌年、佐世保市で小学校6年生の女子児童が同級生を殺害する事件が起きました。また、平成26年には、佐世保市内のマンションの一室で、高校1年生が、クラスメートの女子生徒を殺害する事件が発生しました。学校においては、「命の教育」を推進していますが、凶悪事件が繰り返され、残念でなりません。

子どもは、不安・不快な感情を家族に受け入れてもらえることで、「安全・安心」の基本的な感覚を獲得していくことができます。学校であった不快感に家族が共感することによって、子どもの心の安全をつくってやることのできるのだと思います。

本校生徒の全ての家庭内が、「安全・安心」の場であることを願っています。